



前田さんは下半身の衣類をはぎ取られると
教壇の上で開脚させられた

運動部の男子2人、ましてや女子の中でも
体が小さい前田さんの抵抗など問題にもな
らなかったのだろう
前田さんも諦めたのか、おとなしく先生の言う
事を聞いているようだった

思わなくて...

やだ...

くは...

この実習は保健体育の授業も
兼ねていたらしく、先生が女性器
について何やら解説していた

ここにあるのが大陰唇、
ここが内側に向かって
だけど僕は授業とはいえ
初めて見る女の子のアソコ
に興奮して話をよく聞いて
いなかった

膣口から挿入された
男性器から精子が子宮
に射精され、卵子が

前田さんは自分の未成熟な
体が恥ずかしいのか、終始
涙目だった

そんな前田さんに先生が、
「あなたでも妊娠できる
から大丈夫よ」と優しく
声をかけていたのが印象的
だった

それじゃあそろそろ
実習に移りましょうか

へっへっへん...



おじさんの実習はすごかった

やあッ！
あッ！

やあッ！
やあッ！
やあッ！

おじさんの腰が杭打機のように激しく動きその度に
肉を打ち付ける音と愛液と精液の混じったジューブジューブ
とした音が教室中に響く

中のロリマン
キツキツッ

みんなの
絶対妊娠させるわッ

じゅわ
じゅわ
じゅわ

奥へ奥へと激しく入れられるペニス
に合わせて、前田さんのお腹が膨らん
でるのが外からでもわかる程だった

ぢゅぽッ

中に出さるぞッ！
受精しろよッ！

グッグッ

ぢゅぽッ

ぢゅぽッ

いぽ
いぽ
いぽ

パンッ

パンッ



そして、時折おじさんの動きが一段と激しくなったかと思うと恍惚とした表情を浮かべ動きを止める
おそらく膣内射精しているのだろう

パン
パン
パン

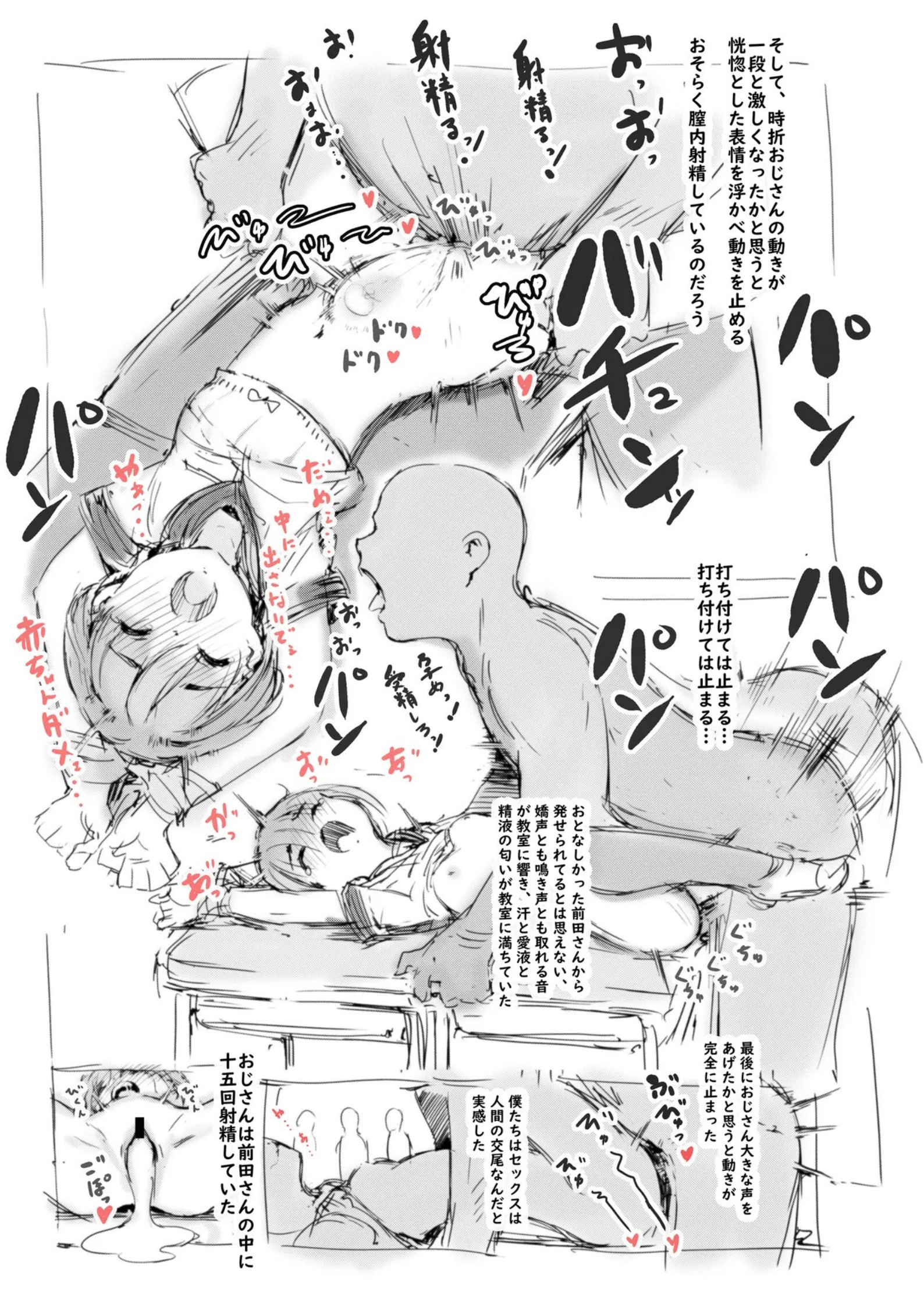
打ち付けては止まる…
打ち付けては止まる…

おとなしかった前田さんから発せられてとは思えない、嬌声とも鳴き声とも取れる音が教室に響き、汗と愛液と精液の匂いが教室に満ちていた

最後におじさん大きな声をあげたかと思うと動きが完全に止まった

僕たちはセックスは人間の交尾なんだと実感した

おじさんは前田さんの中に十五回射精していた



それからおじさんは前田さんを固定すると「男子は一回ずつ射精して帰れ」と言い残し、クラスのかわいい女子を何人か連れて帰ってしまった。

「挿入していいのは交配士のおじさんだけ」という事だったの僕たちは前田さんでオナニーして吐精した

ぼくの精子で妊娠して

びゅっ

びゅっ

びゅっ

っっ
射精する

ゴボ

ゴボ

一回とおじさんは言っていたが、前田さんとおじさんのセックスを見ていた僕たちは、我慢できずに何度も何度も吐精した

僕たちは興奮して、誰でもいいから妊娠させたいと思っていたのかもしれない

みんなが帰った後も僕一人で前田さんに射精をしていた僕は前田さんを妊娠させたかったのだ何故かあまり覚えていないけど僕は前田さんを好きだったのかもしれない

一か月後、前田さんは妊娠していた